

2025

9

図書館運営委員の先生方と図書館職員が
おすすめの1冊をご紹介します！

新着図書

News Letter

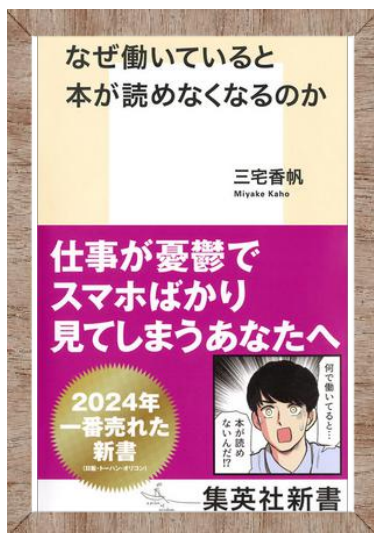
VOL.
40

まだまだ暑さは残っていますが、季節はもう“読書の秋”。
ゆったりとした時間に、本を開いてみてはいかがですか？
話題の本からちょっとニッチな本まで、きっとあなたの
“推し本”が見つかるはず♪
ぜひお気に入りの一冊を探しに来てください。



今月の教員おすすめ本

公共政策学部 福祉社会学科
野田 浩資 教授

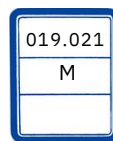


なぜ働いていると本が読めなくなるのか
(集英社新書)

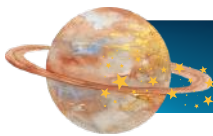
三宅香帆著 集英社 2024.4



所在
新着コーナー



2024年から2025年にかけてのロングセラーです。明治時代から現代のSNS時代までの日本人の読書体験の歴史が読み解かれたうえで、働くことと読書を両立させる社会のあり方と〈働きながら本を読むコツ〉が提案されています。
「本が読めないのはおかしい」と考える著者の思いが伝わってくる本です。



今月の職員おすすめ本



英文学者がつぶやく人生を豊かにするかもしれない 英語と英国文化の話

安藤聡著 平凡社 2025.5

読めば読むほど「英国、何を考えておるのだ？」という無駄と無意味のオンパレード。だがしかし、それこそが英国文化の真髄なのだとわかる。そしてその無駄や無意味が人生を豊かにしてくれる（かもしれない）のである。英語や英文学を学ぶ人もそうでない人も、英国の変な？豊かさに触れてみるべし。



所在
新着コーナー

830.4
A



農業ボランティア：災害列島をめぐる人・組織の復旧記録

齊藤康則ほか著 農山漁村文化協会 2025.3

近年大規模自然災害が多発し、農業ボランティア活動が広がっている。本書は各地のフィールド調査から活動の軌跡を追う。そして実践知を体系化し、事前の仕組みづくりなど具体的な方向性を提示する。この活動がもたらす都市農村交流は農業課題解決の糸口ともなりそうに興味深い。



電子ブック



学内関係者のみ利用可



老いを読む老いを書く (講談社現代新書)

酒井順子著 講談社 2024.11

「老い」をテーマにした日記やエッセイ＝「老い本」。古典から現代文学まで日本文学史における「老い本」の系譜をたどりながら、「老い」という人生の局面を多角的に論じている。文学に描かれた「老い」に触れることで、自分自身や周囲の人の歳の重ね方をあらためて見つめ直してみてもはどうだろうか。



所在
新着コーナー

367.7
S



ケアと編集 (岩波新書)

白石正明著 岩波書店 2025.4

ケアとは、「その人の持って生まれた〈傾き〉のままで生きられるように、背景（言葉、人間関係、環境）を変えること」。2000年にシリーズ『ケアをひらく』（医学書院）を創刊し、幅広いテーマで話題作を送り出した著者が、医療福祉にとどまらない様々な「ケア」のあり方や編集術について語る。



所在
新着コーナー

369.28
S



暦のしずく

沢木耕太郎著 朝日新聞出版 2025.6

江戸中期、日本の芸能史において唯一獄門に処せられた講釈師・馬場文耕。その運命の裏には、権力と市井の暮らしが交錯する激動の時代があった。人々の喜怒哀楽と幕政の矛盾を鮮やかに描き出し、虐げられた者への眼差しを深く刻む長編時代小説。



所在
新着コーナー

913.6
S

今月の職員おすすめ本



動物たちの江戸時代

井奥成彦編著 慶應義塾大学出版会 2025.4

「生類憐みの令」の発令により、人と動物との関わり方が大きく変化した。食用としての存在から、見世物や愛玩の対象へ。人々の善意によって「おかげ犬」が流行した一方で、捕鯨や悪質ブリーダーなど、現代に通じる問題も生じるようになった江戸時代を、貴重な資料と共に振り返る。



電子ブック



学内関係者のみ利用可



建築を見る技術

坂牛卓著 晶文社 2025.2

古代ローマ時代に提唱された建築の三大要素である、使いやすさ、耐久力、美しさ（用・強・美）に加え、7つの分野（服・食・人間・自然・アート・音楽・広告）からの見立て=類推による、身近な建築の味わい方を提唱する。業界の様相や収益にも触れた新しい入門書。



所在
新着コーナー

520.4
S



復帰50年の沖縄世論

熊本博之ほか編著 筑摩書房 2025.6

2022年に沖縄県内で実施された世論調査では、過半数が自身を「沖縄人で日本人」と回答。このようなナショナル・アイデンティティが米軍基地に対する態度に影響していたが、近年では若い世代の意識が変わりつつあるという。これから沖縄はどこへ向かうのか、沖縄世論をもとに分析する。



所在
新着コーナー

318.299
K

学習基本図書リストの更新について

附属図書館では、各学科の先生方にご推薦いただいた学習・研究に役立つ図書を「学習基本図書」として揃えています。このたび、2025年度版リストに更新し、館内コーナーの図書も入れ替えました。貸出もできますので、ぜひご活用ください（学内関係者のみ）。



学習基本図書コーナー
(館内Map)



学習基本図書リスト
(OPAC)



その他の新着図書 (一部抜粋 *冊子体の所在は新着コーナー)

書名	著編者名	出版社	出版年	請求記号
0類 総記				
立ち読みの歴史(ハヤカワ新書)	小林昌樹	早川書房	2025.4	024.1 K
1類 哲学				
生命と自然：ヘーゲル哲学における生命概念の諸相	大河内泰樹ほか	法政大学出版局	2024.7	134.4 O
2類 歴史				
ユダヤ人の歴史：古代の興亡から離散、ホロコースト、シオニズムまで(中公新書)	鶴見太郎	中央公論新社	2025.1	227.9 T
3類 社会科学				
政治における法と政策：公共政策学と法哲学の対話に向けて	田中成明ほか	勁草書房	2023.9	321.1 T
検証異次元緩和(ちくま新書)	原田泰	筑摩書房	2025.5	338.3 H
新・地域の社会学	森岡清志	有斐閣	2025.3	361.7 M
戦争と法：命と暮らしは守られるのか(岩波新書)	永井幸寿	岩波書店	2025.6	393.21 N
4類 自然科学				
化学の基礎：原子から生命現象まで	沼田ゆかりほか	三共出版	2025.4	430 N
トコトやさい有機化学	矢野将文	化学同人	2025.3	437 Y
ビタミンが大切な本当の理由(祥伝社新書)	安田聖栄	祥伝社	2025.6	498.55 Y
5類 工業				
基礎からわかるリモートセンシング 第2版	日本リモートセンシング学会	理工図書	2025.2	512.75 N
持続可能な社会への転換はなぜ難しいのか	湯浅陽一ほか	新泉社	2025.6	519.8 Y
全国「重伝建」散策ガイド(光文社新書)	町井成史	光文社	2025.6	521.8 M
料理山海郷／料理珍味集(ちくま学芸文庫)	博望子	筑摩書房	2025.5	596.21 H
6類 産業				
実証実験・保持林業：広葉樹を残して生き物を守る	山浦悠一ほか	築地書館	2025.7	654 Y
リキッド消費とは何か(新潮新書)	久保田進彦	新潮社	2025.2	675.2 K
8類 言語				
言語能力は人工知能で解明できるか	ノーバート・ホーンSTEIN	岩波書店	2025.5	801 H
9類 文学				
生きる言葉(新潮新書)	俵万智	新潮社	2025.4	914.6 T
一冊で読む漢詩400	鷺野正明	笠間書院	2025.5	921 W
英米怪異・幻想譚(岩波文庫)	芥川龍之介選	岩波書店	2025.4	933.78 A
電子ブック(学内関係者のみ利用可)				※2
だから地方史研究はやめられない ※1	※1 	地方史研究協議会	文学通信	2025.3
虫がよくこぼ花図鑑：ミツバチ・ハナバチ・ハナアブなど ※2	※2 	前田太郎ほか	農山漁村文化協会	2025.2

『新着図書News Letter』40号

2025年9月発行 編集発行人：小林啓治

発行所：京都府立大学附属図書館 〒606-8522 京都市左京区下鴨半木町1-5

TEL 075 (703) 5128~5131 FAX 075 (703) 5192

HP <https://www.kpu.ac.jp/library/>

X (旧Twitter) アカウント名：京都府立大学附属図書館 (@kpu_library)

図書館HP



新着図書
NEWS LETTER
バックナンバー

